# 研究活動報告

『筑波大学先史学・考古学研究』第 21 号発刊
考古学実習（茨城県　水戸市・吉田古墳）
　　谷口陽子（期間：2010 年 11 月 2 日～ 5 日）
先史学実習（茨城県　つくば市・金田古墳）
　　三宅裕，飯塚守人，三宅慶，荒友里子（期間：2011 年 1 月 11 日～ 16 日）

**川西　宏幸**　Preliminary Report Akoris 2009（共編著）.
**常木　　晃**　シリア，テル・エル・ケルク遺跡の発掘調査（科学研究費）．新石器時代墓に関する比較研究調査（科学研究費）. オリーヴ油生産に関する民族誌的調査.「西アジア先史考古学の課題―イランの調査から―」『名古屋大学加速器質量分析計業績報告書』21. Ethno-archaeological research on the modern cemeteries of Ghanem al-Ali village. Formation of Tribal Communities, Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria. Al-Rāfidān Special Issue.『食文化―歴史と民族の饗宴』（編著）.「頭蓋骨埋葬の二態」『歴史人類』38. A newly discovered Neolithic cemetery at Tell el-Kerkh, northwest Syria, Proceedings of the 6th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Volume 2. Tell el-Kerkh 2008, Chronique Archéologique en Syrie: volume 4（共著）.「新石器時代の巨大集落―シリア，テル・エル・ケルク遺跡の 2009 年度調査―」『平成 21 年度考古学が語る古代オリエント　第 17 回西アジア発掘調査報告会報告集』.「西アジア先史考古学の課題―イラン，シリアの調査から」第 22 回名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム（特別講演）.「新石器時代の巨大集落―シリア，テル・エル・ケルク遺跡の 2009 年度調査―」『平成 21 年度考古学が語る古代オリエント　第 17 回西アジア発掘調査報告会』（共同発表）. Proto-Neolithic caves in the Bolaghi valley, southern Zagros, 7th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East（口頭発表）. Early cremation practices recognized from a Neolithic site, Tell el-Kerkh, 7th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East（ポスター発表）.「西アジアの食文化　オリーヴの地中海」『第 4 回　古代オリエントのモノ語り』(講演）. A glimpse of human life given by the Neolithic cemetery at Tell el-Kerkh, northwest Syria, 17th Neolithic Seminar at Ljubljana University, Slovenia,（招待発表）. Formation of state in Japan, Ljubljana University, Slovenia（特別講義）.
**三宅　　裕**　トルコ，サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡，ハッサンケイフ・ホユック遺跡の調査（科学研究費）.「乳を食べる人々―西アジアの乳製品―」『食文化―歴史と民族の饗宴』.「講演録西アジアにおける家畜飼育～乳利用と乳製品の歴史を探る」『松戸市立博物館紀要』17.「西アジアにおける土器の起源を探る：トルコ，サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡第 5 次調査（2009 年）」『平成 21 年度考古学が語る古代オリエント　第 17 回西アジア発掘調査報告会報告集』. 2008 Yılı Diyarbakır İli, Salat Camii Yanı Kazısı. 31. Kazı Sonuçları Toplantısı 2. Cilt. Excavations at Salat Camii Yanı 2004-2006: A Pottery Neolithic Site in the Turkish Tigris Valley. Proceedings of the 6th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Volume 2.「西アジアにおける土器の起源を探る：トルコ，サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡第 5 次調査（2009 年）」『平成 21 年度考古学が語る古代オリエント　第 17 回西アジア発掘調査報告会』（口頭発表），32. 2009 Yılı Diyarbakır İli, Salat Camii Yanı Kazısı. Uluslararası Kazı, Araştırma ve Arkeometri Sempozyumu, Turkey.（口頭発表）.「定住化と農耕の起源–南東アナトリアから見る西アジアの新石器時代」『筑波大学プレ戦略イニシアティブ　西アジア文明センターの構築　第一回定例研究会』（口頭発表）. The Pre-Pottery Neolithic in West Asia: Göbekli Tepe and its environs, Recent Progress in Pre-Pottery Neolithic（PPN）research in southeastern Anatolia, University of Tsukuba, Japan.（共同発表）.
**谷口　陽子**　中国，新疆ウイグル自治区キジル千仏洞壁画群の技法調査（科学研究費）．油彩技法の起源に関する東西壁画の技法材料の比較研究（科学研究費）．トルコ，カッパドキア岩窟教会の壁画群の保存修復のための予備調査．Bamiyan: Dünya Arkeolojisi, Aktuël Arkeologi Dergisi, 13.「アフガニスタン流出仏教壁画

片の調査と修復Ⅰ」『東京藝術大学美術学部紀要』47（共著）.「キジル千仏洞の仏教壁画に関する彩色材料と技法調査―ドイツ，ロシア等による先行研究と，本研究における非接触分析法による予備調査法―」『東京藝術大学新疆藝術学院大学間交流協定記念　張愛紅・シルクロード・亀茲石窟壁画模写展覧会』.「世界遺産」『2010年度版ブリタニカ国際年鑑』. Conserving mural paintings as intermediate layers between immovable and movable heritage: case studies from Central and East Asia, Japanese-German Symposium: World Heritage for Tomorrow, Brandenburg Technical University Cottbus, Germany（口頭発表）.「バーミヤーン仏教壁画の保存修復と調査」『龍谷大学創立370周年国際シンポジウム　人類の至宝アフガニスタン～バーミヤーンから世界をみる～』（講演）.「バーミヤーン仏教壁画に使用されている有機物質：GC/MSとELISA法を用いた分析」『第32回文化財保存修復学会』（ポスター発表）.「アフガニスタン仏教壁画の絵画技法・絵画材料の研究―想定復元模写を通して―」『第32回文化財保存修復学会』（ポスター発表）.「アフガニスタン流出仏教壁画片の調査と修復(3)」『第32回文化財保存修復学会』（ポスター発表）.

**花坂　哲**　Preliminary Report Akoris 2009（共編著）.「古代エジプト地方集落における民衆の信仰―アコリス遺跡出土遺物を事例に―」『日本西アジア考古学会　第15回総会・大会要旨集』.「古代エジプト地方集落における民衆の信仰―アコリス遺跡出土遺物を事例に―」『日本西アジア考古学会　第15回総会・大会』（口頭発表）.

**小野塚拓造**　「茨城県土浦市所在坂田塙台11号墳の測量調査報告」『先史学考古学研究』21.「イスラエル，テル・レヘシュ遺跡2009年（第5次）発掘調査―青銅器時代から鉄器時代への移行期を探る」『平成21年度考古学が語る古代オリエント　第17回西アジア発掘調査報告会報告集』（共著）. The Rise and Fall of a "Canaanite" City State in the Lower Galilee, Israel『公開講演会 地中海東部の古代都市』（口頭発表）. Excavations at Tel Rekhesh, Israel Exploration Journal, 60（共著）.「エンゲヴ遺跡出土のルームウェイトについて」『第13回イスラエル考古学研究会』（口頭発表）. The New Mode of Oil Production in Galilee during the Late Bronze and Iron Ages, Religious Aspects of the Material Culture in Ancient Galilee, XXth World Congress of the International Association of the History of Religions, University of Toronto, Canada（口頭発表）.「第5次テル・レヘシュ発掘調査」『イスラエル考古学研究会ニュースレター』11.

**清家　大樹**　「経僧塚古墳出土人骨について」『武射　経僧塚古墳　石棺篇　報告』（共著）.「第5章　古墳時代以降の遺構と遺物　第2節　久ヶ原遺跡出土古墳時代人骨について」『東京都大田区　久ヶ原遺跡発掘調査報告書』（共著）.

**鈴間　智子**　「石材流通からみた松前の墓標」『近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究』（共著）.「松前の五輪塔―塔から碑へ―」『近世墓と人口史料による社会構造と人口変動に関する基礎的研究』（共著）.

**廣永　尚子**　「ニップル」『西アジア考古学会公開シンポジウム　西アジア・エジプトにおける古代都市の成立と発展―都市景観の背後にあるもの―』.

**荒　友里子**　「メターナ」『西アジア考古学会公開シンポジウム　西アジア・エジプトにおける古代都市の成立と発展―都市景観の背後にあるもの―』.「西アジアの鉄心入り青銅剣」『筑波大学先史学・考古学研究』21.「筑波大学保管　東南アジア，西アジアの青銅製品について」『筑波大学先史学・考古学研究』21.

**大村　冬樹**　「茨城県かすみがうら市所在牛塚古墳の測量調査報告」『筑波大学先史学・考古学研究』21.

**中村真衣子**　「イスファハーン」『西アジア考古学会公開シンポジウム　西アジア・エジプトにおける古代都市の成立と発展―都市景観の背後にあるもの―』.「イラン，マルヴ・ダシュトにおける新石器文化の様相―タル・イ・ジャリA遺跡石器群の分析を中心に―」『筑波大学先史学・考古学研究』21. Lithic Assemblage during the Neolithic Period: at Tall-e Jari A, Southern Iran, 7th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East.（ポスター発表）.

**増森海笑D.**　「エリコ」『西アジア考古学会公開シンポジウム　西アジア・エジプトにおける古代都市の成立と発展―都市景観の背後にあるもの―』.

**飯塚　守人**　「西アジアにおける後期銅石器時代のスタンプ印章の変遷―モチーフの視点から―」『筑波大学

プレ戦略イニシアティブ　西アジア文明センターの構築　第一回定例研究会』(口頭発表).
三宅　　慶「南関東の弥生集落について―房総半島における中期後半・宮ノ台式期を中心として―」『立正考古』47.

## 平成22年度卒業論文・修士論文一覧

### 卒業論文(先史学・考古学コース)

太田有里乃「茨城県域における中世方形竪穴建物の機能論」
小野奈々子「インダス式印章とインダス社会との相関関係」
齋藤　　希「黄河中流域における集落の変遷―初期銅製作技術伝播の背景を探る―」
髙柳　佑美「駿府城石垣普請の背景」
中長　咲恵「人骨からみた南西諸島の旧石器時代―港川人を中心に―」
堀川　綾乃「銅鐸に鈕における文様の割付方法」
松島　悠史「金属製鏃の変遷とその背景に関する研究」
室伏　麻衣「キジル石窟の成立と展開に関する研究―石窟構造，壁画技法・材料の視点から―」
山田　菜摘「「世界遺産」の「顕著な普遍的価値」に関する考察―登録を目指す平泉の文化遺産の事例から―」
梅田　大地「GISの考古学への利用について」
川口　有香「中世陶磁器から見る北方社会」
井口　　喬「長崎における石材業の考古学的研究―石畳を中心として―」
今城　洸政「戦争遺跡の調査・保存・活用～掩体壕群の事例から～」
古藤　早人「日本古代における考古学から見た人口研究―常陸南部を中心として―」

### 修士論文(人文社会科学研究科)

荒　友里子「南ウラル地域における青銅器時代の社会―シンタシュタ文化金属器の分析から―」
大村　冬樹「埴輪生産からみた古墳時代後期の常陸―人物埴輪製作技法の分析による社会体制の復元―」
中村真衣子「北イラン新石器時代の打製石器製作・使用に関する研究―タペ・サンギ・チャハマック遺跡石器群を中心に―」
増森海笑D.「装身具の変遷からみた西アジアの先史社会―ビーズの製作・利用形態の分析を中心として―」